

【評価実施概要】

事業所番号	0170401087		
法人名	有限会社いちわ薬品		
事業所名	グループホームいちわ2号館		
所在地	〒066 - 0031札幌市手稲区稲穂1条1丁目9 - 15 ( 電話 ) 011 - 694 - 3973、FAX011 ( 電 話 ) 011 - 694 - 3973		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成19年6月21日	評価確定日	平成19年7月1日

【情報提供票より平成19年5月31日

( 1 ) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 13日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算	0.54人

( 2 ) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	2 階部分

( 3 ) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(96,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 833円、1か月25,000円				

( 4 ) 利用者の概要( 5月31日現在 )

利用者人数	16名	男性 5名	女性 9名
要介護 1	1名	要介護 2	7名
要介護 3	7名	要介護 4	1名
要介護 5		要支援 2	
年齢	平均 77歳	62 歳	最高93 歳

( 5 ) 協力医療機関

協力医療機関名	勤医協札幌西病院、ゆき小児歯科医院、
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR手稲駅西方徒歩10～15分、大きな寺院があり、閑静な住宅街にある。2階建ての2階に2ユニットのホームである。外庭は広くテーブル、ブランコを配して近隣の子供・市民が利用出来るように開かれている。室内は居間を中心に居室が並び浴室・トイレが中央部に置かれている。管理者は職員の正職員化に努め、多職種による専門化を考慮し、相互の協力関係を図るなど最善の努力を重ねている。心身の状況を見て戸外活動にも意を用い、かつ地域との協力関係も整えつつある。なお、一階部分が未活用なのはもったいない。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	浴室が2ユニット共用で衛生管理も含めて運営に工夫をしている。居間空間は単調になりがちなので、今後もゲームや戸外活動の組み合わせの工夫を検討している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の取り組みは全職員がその意義を理解し、積極的に参加して介護に活かしている。前年の指摘事項をさらに改善している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の開催によって地域の資源との連携、包括支援センター機能の活用で利用者の支援ネットが進むなど、これらの連携が進むことでホームの機能性の拡大と効用が高まりつつある。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族との関係についてはその意向を職員全体が十分聞き届けるような姿勢が見られる。個々の処遇における心身の状況に配慮したきめ細かな検討と会議があり、その結果をもとに家族への相談体制を整えている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	戸外での散歩の挨拶に始まり、地域に支えられるような配慮に力を入れている。理念は「我が家より我が家らしい居場所作り」そのために近隣の人々との密なる関係作りや町内会との良好な関係作りは玄関前の市民向けの居場所作りに現れている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けるサービスとして、「我が家より、我が家らしい居場所となるように」という理念を基に、日々のサービスの提供場面において理念が反映されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「いちわ通信」の発行、運営推進会議などをおして事業所の実践を地域や家族に伝えている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議などが開催されて、よく協議され、地域との関わりでの運営に活かされている。	○	事業所内で常に空いている部屋を町内会の集会場として提供する等して、さらに地域の人々との関わりを積極的にもって行かれることを期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	過去における外部評価結果等を掲示する等職員、家族への周知を行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、現在の事業所の状況などについて意見交換が為されている。</p>	○	<p>運営推進会議を通して事業所が行なっていること、考えていることを更に発信していくことを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>仕事上での電話のやり取りが主体に行なわれている。</p>	○	<p>運営上での現在の実態を共有していただきながら、直面しているサービスの問題について、いっそうの連携を図って行かれる事を望みます。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族への手紙や「いちわ通信」を通して報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員会議等で家族からの意見が報告されて活かされている。</p>	○	<p>「いちわ通信」等を利用して家族からの意見や、事業所の考え方などを公表していくことを望みます。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の正職員化を行う等して、異動や離職を最小限に努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修に積極的に参加する機会を設けている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡協議会のネットワークの一員として意見交換を行なっている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族との相談は行なっている。	○	時間がかかっても、利用者が安心感を持って利用できるように、配慮して頂けることを期待します。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	若い職員が利用者からの励まみや、労りの声をかけられることで、逆に元気を貰っていることもあるようである。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族からの情報や、本人のホームでの暮らしぶり等から意向の把握に努めている。</p>	○	<p>アンケート結果では、利用者の思いや、願いを職員はもっと理解して欲しい希望があるので、職員の更なる努力を期待します。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者主体の暮らしを反映した介護計画作成に努力をいっている。</p>	○	<p>利用者が自分らしく暮らせるように、本人や家族の思いや、意見を聞きながら、介護計画を作成していくことを期待します。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画についての実行と評価は、月に一度のカンファレンス以外にも、状態が変化した時等には計画の見直しを行なっている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>前庭の設備の地域への開放など優れた活用だが、事業所が持つ多機能の力を充分に使われていない。(1階部分の活用について)</p>	○	<p>デイサービスを行っていた時の部屋の利用等、事業所が持っている機能を有効に使っていかれることを期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	複数の協力病院との連携を図りながら、定期健診なども行なっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応をしていない。	○	開設後3年が経過した中で、重度化や終末期に向けた事業所の考え方を、本人や家族の意向、本人にとってどうしたら良いのか、事業所としての最善の支援方法を踏まえながら、方針を立てていかれることを期待します。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護には十分に気を付けている。	○	研修会や勉強会などを通し、利用者の誇りや、プライバシーを損ねない対応の確認を今以上に行なっていくことを望みます。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりペースに合わせた暮らしの支援をしている。	○	買い物や散歩など、利用者一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟なケアをしていくことを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が和みながら雰囲気を作りながら行なっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の状態に応じて肌理こまかに行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は個々の心身の状態を捉えながら対応に努めている。	○	全員で行なう作業や、レク等は行なわれているが、個人の気持や力を引き出せるような場面づくりを支援していくことを期待します。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの近隣を巡る散歩など外の空気に触れるよう努めている。	○	利用者本位の外出支援が、更に行なわれていくことを期待します。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には鍵をかけないようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	避難訓練実施のお知らせを町内会に回覧をするなどして、参加を呼びかけている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	医師、栄養士等との支援を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節感を感じていただけるような工夫をしている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室では使い慣れたものが持ち込まれている。		

 は、重点項目。